

第1号議案 平成27年度事業報告

(平成27年10月7日から平成28年3月31日)

【事業の総括】

フードバンク信州は、平成27年10月7日に設立総会を開催し、平成28年2月23日に特定非営利活動法人となった。

流通の過程で廃棄される食品や、家庭で眠っている食品の寄贈を受け、食糧支援を必要としている生活困窮者等の支援に提供する活動を展開した。廃棄されそうな食品を社会資源として有効活用をはかるとともに、関係機関・団体のネットワークを活かして、食料支援を必要としている人につなぐことにより地域の支え合いのしくみを築くため次のような事業に取り組んだ。

1 食料支援事業

企業や家庭から食品の寄贈を受け、生活困窮者やひとり親家庭等で支援を必要としている世帯及び相談支援窓口などに提供し、自立につなげる支援を行った。

(1) 寄贈食料の受入

フードバンクへの協力を企業等に呼びかけ、団体設立以来、県内の企業7社と同意書を取り交わし、継続的に食料提供をいただいている。(別表1)

また、個人でもフードバンク信州に食料を寄付する方もあり、企業、個人を合わせて、平成27年度で受け入れた食料は、42件、10,011点、1,960kgとなった。(別表2)

寄贈食品のうち、2社からは、災害備蓄品のアルファ米が併せて8,000食が寄贈され、困窮者の緊急支援用に役立てた。

さらに、広報・啓発を兼ねて一般市民に呼びかけて実施したフードドライブで集まった食料は、1,996点、1,117kgとなり(別表3)、併せて12,007点、3,077kgとなった。

(2) 食料の支援

受け入れた食料は、食料を必要としている個人の支援に配送するとともに、県内の生活・就労支援センター(まいさば)のほか、社会福祉施設や困窮者支援団体の支援に活用した。

食料支援作業は、フードバンク信州団体会員の長野市社会事業協会のななせ仲まちはが集配拠点として受け持ち、食料の保管、仕分け、配布作業を行っている。

受け入れた食料3,077kgのうち、1,482kgは生活困窮者の個別支援に配送し、1,595kgはまいさば、困窮者支援団体、福祉施設等の支援に活用された。(別表4)

平成27年9月から平成28年3月までにフードバンク信州の食料支援を利用した市町村は、51市町村(全市町村の66.2%)となり延べ利用件数は484件となった。

長野市社会事業協会は、社会福祉法人の社会貢献事業としてフードバンク協力しており、ななせ仲まちはの障害を持つ利用者が食料の仕分け作業などに参加し、社会活動の場ともなっている。

2 広報・啓発事業

○フードドライブの実施

フードバンク活動の理念を地域社会に広め、多くの市民に参加する機会を提供する目的で、家庭で眠っている食料を集め、資源の有効活用と支え合の地域づくりにつなげるため、フードドライブを実施した。

長野市と松本市で定期開催をめざし、長野市では平成 27 年 11 月から、毎月第 2 土曜日をフードの日として「もんぜんフードドライブ」（会場：もんぜんぷら座）を開催、松本市では平成 27 年 12 月から毎月 1 回「まつもと城のまちフードドライブ」（会場：松本市役所）を開催し、定期開催がほぼ定着した。

平成 28 年 3 月末までに、長野市では 6 回、松本市では 3 回開催、その他イベント開催も併せると、寄付された食料は、1,996 点、1,117k g となった。寄付者は 19 市町村の延べ 155 人となった。

フードドライブは、一般の市民に、食料の無駄を減らすことと困窮者の支援について関心を持ってもらうための啓発の場としての役割に期待があり、今後、地域の関係者の連携により開催場所を広げていきたい。

フードドライブでは、缶詰、レトルト食品、カップ麺、乾麺、菓子類、調味料、お茶など多様な食品が集まり、集まった食品は、集配拠点のななせ仲まち園で取り扱うほか、松本のフードドライブで集められた食品は、地元の生活就労支援センターや支援団体の支援に利用され、地域内での食料の循環による有効活用が始まっている。

○メディア利用による広報啓発

フードバンク信州の活動について、テレビ・ラジオ、新聞等の取材による啓発を行うとともに、長野、松本のフードドライブの開催については、毎回プレスリリースし、一般への周知に努めた。

フードバンク活動についての新聞各紙の報道は、延べ 37 件となり、フードバンクへの関心を高め、協力者の増加に役立った。（別表 5）

3 フードバンク活動調査・研究事業

○フードバンク活動推進セミナーの開催

フードバンク活動を県内の各地域の取り組みとして広げるため、支援機関・団体、企業、行政、住民等、関心がある人たちを対象にフードバンク活動について、考えるためのセミナーを長野市で開催した。

・開催日 平成 28 年 2 月 29 日（月）

・参加者 80 名

企業、食品販売業者、生活困窮者支援組織・団体、関係行政機関

その他フードバンクに関心のある団体、個人

・内容

基調講演

講師 静岡大学日詰一幸教授（フードバンクふじのくに理事長）

「フードバンク活動と生活困窮者支援」について講演

シンポジウム〔シンポジスト〕

羽田野雅司氏：松本市環境部環境政策課 課長補佐

土屋ゆかり氏：長野市生活就労支援センター まいさぼ長野市所長

青柳 與昌氏：長野市社会事業協会 ななせ仲まち園 園長

フードバンク活動が目指す目標について、食品ロスの削減と困窮者支援の両面から問題提起し、理解を広げる場となった

4 関係者ネットワークの構築

フードバンク活動にかかわる組織、団体、企業、受益者等の連携会議を開催し、ネットワークによる継続的な活動の基盤の構築を進めた。

○地域関係者会議の開催

地域の関係者が連携して、地域内で食料の循環を図るしくみを構築するため、フードドライブの開催をきっかけに地域関係者会議を開催し、事業推進を図った。

平成 27 年度は、松本地域での活動を進めるため、11 月 20 日に関係者による会議を開催、フードドライブの定期開催となり、拠点づくりを進めている。

28 年度は、上田地域、飯田地域での関係者会議の開催を計画している。

○他団体との連携による活動

フードバンク活動が社会に理解され活動への参加を広めるため、他団体が実施する企画等に積極的に参加、協力を行った。

平成 27 年度は次のような企画に参画した。

- ・ワーカーズコープ北陸信越事業本部決起集会で活動報告：平成 27 年 12 月 13 日
- ・飯田メディカルバイオクラスター食品系分科会で活動報告：平成 27 年 12 月 16 日
- ・第 5 回長野きずな村開催に協力（アルファ米 400 食を提供）：平成 27 年 12 月
- ・長野市篠ノ井商店会フェスティバルのフードドライブに協力
：平成 28 年 2 月 11 日
- ・ながのみそ駅フェスタに参加（主催 ながの協働ネット）：平成 28 年 2 月 13 日
（主催 ながの協働ネット）駅なかフードドライブを開催
- ・ながの環境活動コンテストに参加：平成 28 年 2 月 14 日
（主催 ながの環境パートナーシップ会議）

5 組織運営

(1) 会員の構成

	団体	個人	合計
正会員	15	15	30
賛助会員	3	9	12

(2) 三役会議

- 第1回 10月29日 長野県NPOセンター
第2回理事会、運営体制、今後のスケジュールについて
- 第2回 12月11日 長野県NPOセンター
第3回理事会について
- 第3回 4月27日 長野県NPOセンター
第6回理事会について

(3) 理事会

- 第1回 10月7日 若里市民文化ホール 第3学習室
理事長、副理事長の互選
- 第2回 11月5日 もんぜんぶら座 304会議室
今後の活動の進め方、月次活動計画、フードドライブ開催計画、寄贈先への協力
のお願い
共同募金への配分申請、他
- 第3回 12月17日 もんぜんぶら座 304会議室
年越しきずな村への対応、セミナー開催計画、企業・団体への協力依頼、他
- 第4回 平成28年1月28日 もんぜんぶら座 304会議室
フードドライブにおけるのぼり旗掲示問題について、セミナー開催計画、
「駅なか」フードドライブ、松本・上田でのフードドライブの開催、他
- 第5回 平成28年3月10日 もんぜんぶら座 304会議室
平成28年度事業計画(案)、ホームページの開設、関東食育推進ネットワークへ
の加入、
ながの協働ネットへの加入、定期総会の日程、他
- 第6回 平成28年4月28日 もんぜんぶら座 303会議室
平成28年度通常総会、「子どもの居場所づくりモデル事業」への協働、
夢バンクからの借入、他

(別表1)

協力企業一覧(同意書)

	企業名	所在地	合意日
1	株式会社 ナガノマト	松本市村井町南3丁目15番37号	2015年10月7日
2	株式会社 スーダージュム	東京都目黒区中町2丁目8番7号	2015年10月15日
3	柄木田製粉株式会社	長野市篠ノ井会30-2	2015年11月19日
4	生活協同組合コープながの	長野市篠ノ井御幣川668番地	2015年12月11日
5	株式会社 みすずコーポレーション	長野市大字若里1606番地	2016年2月26日
6	オリンパス株式会社長野事業所	上伊那郡辰野町伊那富6666番地	2016年3月3日
7	セントラルパック株式会社	松本市笹賀5652-52	2016年4月1日

(別表2)

月別食料受領数(フードドライブを除く)

受領月	寄付総数			企業・団体			個人		
	件数	数量	重量(kg)	件数(社)	数量	重量(kg)	件数(人)	数量	重量(kg)
2015年9月	2	548	155	2	548	155			
10月	6	21	190	1	12	3	5	9	187
11月	6	119	97	3	58	72	3	61	25
12月	6	3,241	581	4	3,207	573	2	34	8
2016年1月	2	38	6	1	12	3	1	26	3
2月	10	801	331	7	759	214	3	42	117
3月	10	5,243	600	6	5,160	575	4	83	25
合計	42	10,011	1,960	24	9,756	1,595	18	255	365

(別表3)

フードドライブ実績(2015.9~2016.3)

開催日	フードドライブ名 (イベント名等)	寄贈量		参加者数	備考
		数量	重量(kg)		
2015年9月13日	長野県協同フェスティバル	356	64	45名	
11月14日	第1回ながの「もんぜん」フードドライブ	275	82	22名	もんぜんぶら座
12月12日	第2回ながの「もんぜん」フードドライブ	124	181	18名	もんぜんぶら座
12月16日	第1回まつもと「城のまち」フードドライブ	123	271	33名	松本市役所
2016年1月9日	第3回ながの「もんぜん」フードドライブ	205	63	21名	もんぜんぶら座
2月13日	長野えきなかフードドライブ	171	32	24名	長野駅MIDORI
2月18日	第2回まつもと「城のまち」フードドライブ	341	266	26名	松本市役所
2月29日	フードバンク活動推進セミナー	101	30	101名	ひとかんの缶詰プロジェクト
3月12日	第4回ながの「もんぜん」フードドライブ	134	26	11名	もんぜんぶら座
3月17日	第3回まつもと「城のまち」フードドライブ	166	102	18名	松本市役所
	計	1,996	1,117	319名	

(別表4)

食料支援実績(2015.9~2016.3)

区分	受領食料		①個人支援		②支援機関・団体支援	
	数量	重量(kg)	数量	重量(kg)	数量	重量(kg)
フードバンク信州受入れ分	10,011	1,960	1,499	599	8,512	1,361
フードドライブ分	1,996	1,117	1,382	883	614	234
計	12,007	3,077	2,881	1,482	9,126	1,595

注):配布先

- ①個人支援分は、集配拠点のななせ仲まち園から個人宛に配送したもの
 ②支援機関・団体分は、まいさぼ、困窮者支援団体、福祉施設等に支援したもの

(別表5)

フードバンク信州 新聞掲載一覧 (2015年6月～2016年3月31日)

年	月日	メディア	タイトル
2015年	6月18日	長野市民新聞	フードバンク設立へ
	7月3日	信濃毎日新聞	フードバンク県内需要増
	8月28日	中日新聞	フードバンク信州10月設立
	9月30日	信濃毎日新聞	フードバンク初の全県組織
	10月5日	信濃毎日新聞	「斜面」フードバンク信州あさって設立
	10月8日	信濃毎日新聞	フードバンク信州設立
	10月8日	中日新聞	フードバンク信州設立総会
	10月10日	長野市民新聞	「フードバンク」設立
	10月17日	長野市民新聞	フードバンクで地域のつながりを
	11月11日	信濃毎日新聞	フードバンク信州14日に長野で催し
	11月12日	信濃毎日新聞	「夕刊」フードバンク全国組織結成
	11月13日	信濃毎日新聞	フードバンク全国組織きょう設立
	11月15日	信濃毎日新聞	フードドライブ食品の寄付75キロ集まる
	11月25日	日本農業新聞	フードバンク信州始動
	12月1日	信濃毎日新聞	長野市でフードドライブ
	12月4日	信濃毎日新聞	フードバンクの活動 松本でも
	12月4日	市民タイムス	余った食べ物で人助け 松本市で初開催
	12月10日	信濃毎日新聞	初めての大口寄付 コープながのから
	12月17日	信濃毎日新聞	松本で寄付 食品290キロ集まる
12月17日	市民タイムス	余った食材 福祉に活用	
12月26日	松本平タウン情報	広がれ「フードドライブ」	
2016年	1月3日	信濃毎日新聞	困窮者らへ食料送る「フードバンク」
	1月5日	信濃毎日新聞	「もったいないの心」広がる
	1月8日	信濃毎日新聞	長野で9日、食品寄付募る催し
	2月9日	松本平タウン情報	18日松本 フードドライブ
	2月13日	日本経済新聞	県内にフードバンクの輪
	2月18日	信濃毎日新聞	松本寿台児童館「ハッピー食堂」企画
	2月19日	市民タイムス	生活困窮者支援 市役所でフードドライブ
	2月23日	朝日新聞	「フードバンク信州」始動
	2月25日	長野市民新聞	フードバンク29日にセミナー 若里
	2月28日	信濃毎日新聞	あす NPOが長野でセミナー
	3月1日	信濃毎日新聞	フードバンク事業を紹介
	3月6日	毎日新聞	「この食料で助かった」
	3月13日	信濃毎日新聞	「社説」フードバンクの活動
	3月16日	朝日新聞	使い切れなかった食品集めて生活困窮者支援
	3月25日	信濃毎日新聞	辰野の事業場 アルファ米5000食 フードバンクに寄付
	3月25日	毎日新聞	フードバンクに善意次々

○ 新聞掲載 37件

○ テレビ取材 NHK、SBC、テレビ信州、長野放送

社説



フードバンクの活動

最初に訪れた年配の夫婦はキヤリーバッグから米や砂糖、そら豆などを取り出した。多くは頂き物だという。離れて暮らす孫たちが来た時のために買ってあったコーヒータや菓子も持参した。家庭で余っている食品の寄付を募るイベント「フードバンク」でのことだ。長野市でこの活動が開始された。NPO法人フードバンク信州が毎月第2土曜日に

行っている。賞味期限まで1カ月以上、常温保存できるといった条件に合ったものを寄付してもらう。食べられるのに捨ててしまう品物を集め、困難家庭などの支援に役立つ「フードバンク」の活動の一環だ。缶詰、カップ麺や乾麺、カレー、食用油、お茶…。さまざまな食品が持ち寄られた。

食べきれず無駄にしてしまつたのもったいないと感じていた60代女性はイベントを知って早速、足を運んだ。「子どもの貧困」という話題を聞くと胸が痛む。喜んで食べてもらえたら」と話す。

大量廃棄の一方で米国でフードバンクが始まったのは、1960年代だ。日本では

「もったいない」を生かす

2008年のリーマン・ショック後、生活保護受給者の増加などを

受けて広がった。東北では東日本大震災もきっかけになった。食べられるものが大量に捨てられている。一方で、その日の食べ物にも困る人たちがいる。ちひなな現状がある。「食品ロス」を減らすとともに、困難者を支援できれば一歩前進だ。長野県内でも活動を進めようとする

昨年10月、フードバンク信州が設立された。現在、県生協連やJA長野中央会、県NPOセンターなど15の団体と個人14人が正会員として参加している。

フードドライブで集まる食品のほかにも、企業や個人からの寄付がある。02年からフードバンクに取り組み東京のNPO法人「セカンドハーベスト・ジャパン」の協

力も得ている。

1月末までに39市町村の延べ113人に食品を届け、各地の相談機関などを通じて申し込んだ人たちだ。県内にも困窮者が少なからずいることを実感させる。失業や一時的に収入をなくした単身者、ドメスティックバイオレンス(DV)で夫と別居中の母子など事情はさまざま。活動に当たっては、正会員の団

体の一つである長野市社会事業協会の存在が大きい。食品の保管や仕分け、配送を担い、経費も負担している。

こうした保管、配送の拠点を増やしていくことが、これからの課題の一つだ。各地で動く態勢ができれば、集めやすい。届ける費用や時間を節約できる。また、県内4カ所、ゆくゆくは

らにきめ細かく覆きたいと考えている。人員や経費を工面するのは簡単でないだろう。地域に合ったやり方を探してほしい。

長野市でのフードドライブは4回目だった。松本市でも市が主催して開いており、17日に3回目がある。前回までに両市を合わせて延べ144人から1240点、895kgが寄せられた。食品を集めるだけなら、企業に

寄付を求める方が効率的で、仕分けの手間も少ない。フードドライブを一つの柱に据えているのは、市民参加を求める大事な機会だからだ。フードバンクの活動を知り、食品ロスや生活困窮者について関心や理解を深めてもらうきっかけになる。

企業の理解も鍵に日本の食品ロスは12年度に642万トンと推計されている。コメの収穫量は約800万トン。いかに大きいかわかる。印字ミスや賞味期限などのため、品質は問題ないのに流通しない商品もある。

食品業界には3分の1のルールと呼ばれる商習慣がある。賞味期限までの期間の3分の1を過ぎると小売店に納品できないといったルールだ。食品ロスを減らすにはまず、こうした流通の在り方を見

直す必要がある。その上で、なお無駄になる食品は有効活用を考えたい。生活困窮者への緊急的な支援に生かすのは一つの手だ。フードバンクを通して「もったいない」を「ありがたさ」に変えられる。フードバンク信州は既に幾つかの企業と、寄贈される食品の取り扱いについての同意書をお互いに締結している。転売・再販の禁止、非営利目的の事業に限って使うといった内容を定める。

先月、NPO法人化したのを機に、より多くの企業に協力してもらえよう今後、依頼を本格化させる考えだ。食品メーカーをはじめ、企業にとっても食べられてこそその商品だ。廃棄にかかるコストも削減できる。取り組みの定着に向けて理解を広げていきたい。

あすへのとびら

第2号議案 平成27年度決算報告

活動計算書

		[税込] (単位:円)	
特定非営利活動法人フードバンク信州		自平成28年2月23日 至平成28年3月31日	
【経常収益】			
【受取会費】			
賛助会員受取会費		3,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		152,000	
経常収益計		<u>152,000</u>	155,000
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	125,000		
通勤費(事業)	33,460		
人件費計	<u>158,460</u>		
(その他経費)			
諸謝金	20,000		
印刷製本費(事業)	3,050		
会議費(事業)	7,068		
旅費交通費(事業)	34,910		
通信運搬費(事業)	2,737		
消耗品費(事業)	698		
支払手数料(事業)	864		
雑費(事業)	2,199		
その他経費計	<u>71,526</u>		
事業費計		229,986	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	<u>0</u>		
(その他経費)			
旅費交通費	7,450		
通信運搬費	4,159		
消耗品費	5,013		
地代家賃	150,000		
諸会費	10,000		
租税公課	300		
雑費	2,557		
その他経費計	<u>179,479</u>		
管理費計		179,479	
経常費用計		<u>179,479</u>	409,465
当期経常増減額			△ 254,465
【経常外収益】			
経常外収益計			0
【経常外費用】			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			<u>△ 254,465</u>
当期正味財産増減額			△ 254,465
前期繰越正味財産額			364,338
次期繰越正味財産額			<u>109,873</u>

貸借対照表

特定非営利活動法人フードバンク信州
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成28年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金	204,844		
現金・預金計	<u>204,844</u>		
流動資産合計		<u>204,844</u>	
資産合計			<u>204,844</u>
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	88,000		
前受金	3,000		
預り金	<u>3,971</u>		
流動負債合計		<u>94,971</u>	
負債合計			94,971
《正味財産の部》			
前期繰越正味財産		364,338	
当期正味財産増減額		<u>△ 254,465</u>	
正味財産合計			<u>109,873</u>
負債及び正味財産合計			<u>204,844</u>

財産目録

特定非営利活動法人フードバンク信州
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成28年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
普通預金	204,844		
八十二銀行/長野南支店	<u>(204,844)</u>		
現金・預金計	<u>204,844</u>		
流動資産合計		<u>204,844</u>	
資産合計			204,844
《負債の部》			
【流動負債】			
未払金	88,000		
前受金	3,000		
預り金	3,971		
源泉所得税	(1,929)		
報酬	<u>(2,042)</u>		
流動負債合計		<u>94,971</u>	
負債合計			<u>94,971</u>
正味財産			<u>109,873</u>

財務諸表の注記

特定非営利活動法人フードバンク信州

平成28年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	食料支援事業	フードドライブ事業	ニーズ調査	セミナー開催	関係者会議開催	共通事業	合計
(人件費)							
給料 手当(事業)						125,000	125,000
通勤費(事業)						33,460	33,460
人件費計	0	0	0	0	0	158,460	158,460
(その他経費)							
諸謝金				20,000			20,000
印刷製本費(事業)		850		2,200			3,050
会議費(事業)				7,068			7,068
旅費交通費(事業)		3,780		31,130			34,910
通信運搬費(事業)		892		1,845			2,737
消耗品費(事業)		698					698
支払手数料(事業)						864	864
雑費(事業)				2,199			2,199
その他経費計	0	6,220	0	64,442	0	864	71,526
合計	0	6,220	0	64,442	0	159,324	229,986

寄付金一覧

日付	寄付者名	金額
2015年10月13日	長野県農畜産物普及推進協議会	19,399
2015年10月20日	労協ながの	30,000
2015年10月26日	長野県労働者福祉協議会	290,000
2015年10月30日	長野県生活協同組合連合会	90,000
2015年10月30日	JA長野中央会	90,000
2015年11月7日	ながの「もんぜん」フードドライブ	600
～2016年2月22日		① 519,999
2016年3月15日	小林伯子	2,000
2016年3月31日	長野県NPOセンター	150,000
2月23日～3月31日		② 152,000
	合計(①+②)	671,999

活動計算書

自 平成27年10月7日 至 平成28年2月23日

フードバンク信州準備会
(単位：円)

科 目	予算額	実行額	差 額
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	105,000	205,000	△ 100,000
個人賛助会員受取会費	30,000	21,000	9,000
団体賛助会員受取会費	50,000	15,000	35,000
2 受取寄付金			
受取寄付金	1,200,000	519,999	680,001
3 受取助成金等			
受取助成金			
受取補助金			
4 事業収益			
5 その他収益			
受取利息	100	27	73
預かり金		7,026	△ 7,026
繰越金		36,855	△ 36,855
経常収益合計	1,385,100	804,907	580,193
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
賃金	600,000	229,500	370,500
通勤手当		76,710	△ 76,710
人件費計	600,000	306,210	293,790
(2) その他経費			
謝金	20,000		20,000
旅費交通費	40,000		40,000
通信運搬費	10,000	1,715	8,285
消耗品費	120,000	20,000	100,000
印刷製本費	150,000	1,760	148,240
委託費	100,000		100,000
賃借料	20,000		20,000
その他経費計	460,000	23,475	43,475
事業費合計	1,060,000	329,685	337,265
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
旅費交通費		56,380	△ 56,380
通信運搬費		8,197	△ 8,197
会議費	10,000	5,000	5,000
消耗品費	20,000	14,894	5,106
印刷製本費	20,000	2,640	17,360
賃借料		11,340	△ 11,340
地代家賃	100,000		100,000
業務委託費	120,000		120,000
支払い手数料		3,456	△ 3,456
雑費	100	4,508	△ 4,408
預かり金	0	4,469	△ 4,469
その他経費計	270,100	110,884	159,216
管理費合計	270,100	110,884	159,216
経常費用合計	1,330,100	440,569	889,531
当期経常増減額	55,000	364,338	△ 309,338

設立総会～平成28年3月31日

自 平成27年10月7日 至 平成28年3月31日

非営利活動法人フードバンク信州

(単位：円)

科 目	予算額	実行額	差 額
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	105,000	205,000	△ 100,000
個人賛助会員受取会費	30,000	24,000	6,000
団体賛助会員受取会費	50,000	15,000	35,000
2 受取寄付金			
受取寄付金	1,200,000	671,999	528,001
3 受取助成金等			
受取助成金			
受取補助金			
4 事業収益			
5 その他収益			
受取利息	100	27	73
預かり金		7,026	△ 7,026
繰越金		36,855	△ 36,855
経常収益合計	1,385,100	959,907	425,193
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
賃金	600,000	354,500	245,500
通勤手当		110,170	△ 110,170
人件費計	600,000	464,670	135,330
(2) その他経費			
謝金	20,000	20,000	0
会議費		7,068	△ 7,068
旅費交通費	40,000	34,910	5,090
通信運搬費	10,000	4,452	5,548
消耗品費	120,000	20,698	99,302
印刷製本費	150,000	4,810	145,190
委託費	100,000		100,000
賃借料	20,000		20,000
支払手数料		864	△ 864
雑費		2,199	△ 2,199
その他経費計	460,000	95,001	364,999
事業費合計	1,060,000	559,671	500,329
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
旅費交通費		63,830	△ 63,830
通信運搬費		12,356	△ 12,356
会議費	10,000	5,000	5,000
消耗品費	20,000	19,907	93
印刷製本費	20,000	2,640	17,360
賃借料		11,340	△ 11,340
地代家賃	100,000	150,000	△ 50,000
業務委託費	120,000		120,000
諸会費		10,000	△ 10,000
租税公課		300	△ 300
支払い手数料		3,456	△ 3,456
雑費	100	7,065	△ 6,965
預かり金	0	4,469	△ 4,469
その他経費計	270,100	290,363	△ 20,263
管理費合計	270,100	290,363	△ 20,263
経常費用合計	1,330,100	850,034	480,066
当期経常増減額	55,000	109,873	△ 54,873

監査報告書

平成 28年 5月 13日

特定非営利活動法人フードバンク信州
理事長 佐藤 豊 殿

特定非営利活動法人フードバンク信州
監事 原山 政



私は、平成27年10月7日から平成28年3月31日までの会計年度における会計及び事業の監査を行い、次の通り報告致します。

1 監査方法の概要

会計監査について、帳簿ならびに会計書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

事業監査について、事務局長から事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて、事業執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

貸借対照表、財産目録、活動計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の活動状況および財務状況を正しく示しているものと認める。

事業報告の内容は真実と認める。

以上

第 3 号議案 平成 28 年度事業計画（案）

1 今年度の基本方針（現状と課題）

設立以来、約半年の活動を通して次のような状況と課題が見えてきました

- ・県内の各生活困窮者相談支援機関の窓口で緊急的に食料支援が必要なケースが増加しており、安定的な食料確保の体制確立が急務です。
- ・ニーズの増加に対応できる継続的な活動展開に向けて、理解者、協力者を増やすことが不可欠であり、企業や一般住民に対する効果的な啓発活動が必要です。
- ・長野県は面積が広いため、効率よく食品の寄贈や支援ニーズに効率よく応えるために、地域ごと需給調整をはかれる拠点整備が必要です。

設立から 2 年目を迎える本年度は、上記の課題を踏まえて活動推進の基盤づくりに取り組むこととします。

2 実施目標

- (1) 食品寄贈量 10 t（前期実績 3 t）
- (2) 市町村行政や社協などの相談窓口からの依頼に対する支援件数 1000 件(前期実績 500 件)
- (3) 食料収集のためのフードドライブの窓口を 10 箇所（現状 3 箇所）に増やす
- (4) 地域の拠点を 4 箇所に設置する。

3 事業実施計画

事業名	具体的な事業内容	実施時期 場所等	対象者の範囲	予算額 (千円)
①食料支援事業	○ 寄贈食料の受入と配付 企業や家庭から食品の寄贈を受け入れ、生活困窮者やひとり親家庭等で支援を必要としている世帯及び社会福祉施設・支援団体等に届ける。	通年	・県内全域 (まいさぼ等支援機関を通して支援) ・支援団体施設等	1,440
	○ 地域拠点の整備、運営体制の構築	H28 年 7 月 ～29 年 3 月	・県内 3 地域を 想定	2,430
	○ 子どもの居場所づくり事業への連携協力 生活困窮世帯の子ども等を対象 食事提供を伴う居場所づくり事業に食材提供等で協力する	H28 年 8 月 ～29 年 3 月	・県内 2 地域を 想定	

② 食を大切にす る文化の普及・ 啓発事業	○フードドライブの実施 一般住民に呼びかけ、家庭で眠 っている食料を集め、資源の有効 活用と支え合いについて理解を広 める。 各地域での定期開催をめざし支 援団体や地域の組織と連携し実施 する体制を構築する。	・ 県内 4 地域 での定期開催	一般市民	
	○担い手養成講座の開催	県内 6 会場	・ 企業及び関係 者、一般市民	848
	○ 広報・啓発事業 ・ 啓発用パンフレット、チラシの 作成			336
	・ ホームページの作成 食品ロスの削減と生活困窮者支 援について企業や一般市民に理 解を広めるための情報発信を行 う。		・ 企業及び関係 者、一般市民	550
③ フードバンク 活動を普及す るための調査・研 究事業	○ ニーズ調査の実施 支援機関・団体をとおして食料 支援を必要としている世帯を把 握する。	H28 年 5 月 ～6 月 福祉事務所単 位で実施		120
	○ セミナーの開催 関係機関および一般市民を対象 に理解を広めるためのセミナーを 開催する。	・ 県内 4 会場	・ 県内の個、団 体、関係機関 、一般市民 200 人	
④ その他必要な 事業	○ 関係者連携会議の開催 フードバンク活動にかかわる組 織、団体、企業、受益者等の連携 会議を開催し、ネットワークによ る継続的な活動の基盤を創る。	・ H28 年 5 月 ～6 月 県内 4 地区	・ 県内関係機関 、団体等 120 人	660
	○ 視察研修 県外の先行実施しているフード バンクを視察し、今後の運営方策 を研究する	・ 随時		

第4号議案 平成28年度活動予算（案）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 フードバンク信州

（単位：円）

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	300,000	
個人賛助会員受取会費	60,000	
団体賛助会員受取会費	50,000	410,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	100,000	100,000
3 受取助成金等		
受取助成金	7,078,000	
受取補助金		7,078,000
4 事業収益		0
5 その他収益		
受取利息	300	300
経常収益合計		7,588,300
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
賃金	2,740,000	
人件費計		2,740,000
(2) その他経費		
謝金	126,000	
旅費交通費	208,000	
通信運搬費	338,000	
会場借料	566,000	
消耗品費	130,000	
印刷製本費	1,510,000	
通信費		
広報費	500,000	
光熱水費	90,000	
保険料	0	
委託費	360,000	
賃借料	360,000	
その他経費計		4,188,000
事業費合計		6,928,000
2 管理費		
(1) 人件費	350,000	
人件費計		350,000
(2) その他経費		
会議費	20,000	
消耗品費	10,000	
印刷製本費	20,000	
地代家賃	240,000	
雑費	300	
その他経費計		290,300
管理費合計		640,300
経常費用合計		7,568,300
当期経常増減額		20,000
III 経常外収益		
経常外収益合計		0
IV 経常外費用		
経常外費用合計		0
経常外費用増減額		0
当期正味財産増減額		20,000
前期繰越正味財産額		109,873
次期繰越正味財産額		129,873